

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

「いとしご」増刊

絆

きずな



第74号 4月号
発行2004年 4月10日

購読料1部100円

(会員は会費に含まれています)

発行所：社団法人日本自閉症協会奈良県支部 編集人：穴戸良朗

支部長&事務局：河村舟二 〒639-1055 大和郡山市矢田山町84-10 TEL&FAX 0743-55-2763

URL: <http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

ぜひとも総会に出席しよう！

☆新澤伸子先生という自閉症の専門のすばらしい講師をお招きしました。
この機会をのがさないようにしましょう！

2004年度(平成16年度)

社団法人日本自閉症協会奈良県支部

第7回定期総会

本年度講演終了後支部総会を行います。

日時：2004年 4月24日(土曜日)

受付12:30

時間：前半講演 13:00~15:00

後半総会 15:15~17:00

場所：やまと郡山城ホール レセプションホール
大和郡山市北郡山町211番地の3

近鉄郡山駅下車北へ800メートル市役所の北駐
車場あり。(療育手帳を事務所で見せれば駐車無
料)2時間までなら一般の人も無料。いっぱい
の時の西友前の市駐車場(買い物すれば無料)

前半13:00~15:00

☆☆自閉症スペクトラム、ADHD、LD、高機能自
閉症、アスペルガー児理解のための 基礎講座☆
☆講演内容

「自閉症スペクトラムの理解と支援」

新澤 伸子先生(大阪府自閉症・発達障害支援セ
ンター「アクトおおさか」センター長)

○対象 会員とすべての自閉症関係者(学校・福
祉・保護者・学生・関心を持つ県民市民)

○参加費(資料代) 500円 支部会員は無料

○定員130名(当日先着)

○申し込み 不要 会場満席の時はお断りする

ことがあります。

後半15:15~17:00

第7回定期総会

2003年度 活動報告

2003年度 会計決算報告

2004年度 事業計画の承認

2004年度 会計予算の承認

その他

以上についてご審議いただきます。総会は過半数
に満たないと成立しませんのでどうしても出席で
きない会員は必ず委任状を事務局に提出して下さ
い。(以前総会成立が危ぶまれた事がありました。)

※ 保育は 会員のみ(申し込み療育部役員へ)
委任状の形式

議事については〇〇氏に委任いたします。(※会
員名、議長、支部長河村などを入れる)

平成16年4月24日

住所

氏名

印(メールは省略)

☆委任状は総会に間に合うようにハガキ、ファク
ス、E-mail、当日参加者にことづける形で
お届けください。

〒639-1055 大和郡山市矢田山町84の10

河村舟二 あて

電話、FAX 0743-55-2765

E-mail kawafune@ares.eonet.ne.jp

防衛庁 石破長官自閉隊発言について

平成 16 年 3 月 1 7 日
防衛庁長官 石破 茂 様
社団法人日本自閉症協会
会 長 石井哲夫
「自閉隊」発言の取り消しについて（お願い）
拝啓

私ども日本自閉症協会は、「自閉症」という障害のある人たちとそのご家族を支援している全国組織で、全国 47 都道府県すべてに支部をもち会員数は約 12,000 名です。なお、当障害の発症率から、「自閉症」とその近辺にある関連障害の人は日本全国で 100 万人程になると考えられています。

さて、3 月 1 6 日に行われた自民党所属の衆議院議員のパーティーで石破長官より自閉症児の自閉と言う意味の「自閉隊」発言があったとの報道があり、全国の会員から協会に「石破長官へ自閉症の正しい説明をしてほしい」との強い要望が殺到しております。

自閉症という障害をもつ人々は困難を抱えながらも、社会の中で一生懸命に生活をしておりますが、内に閉じこもると言う意味で使われることからの誤解が広まることは、この障害をもつ人々にとってマイナスとなるものです。
日本自閉症協会としては、このような状況を打開するため、全国 4 7 都道府県にある各支部と協力して障害についての正しい理解を広

める取り組みを行っておりますが、防衛庁長官という重要なお立場の方から誤った認識を広めかねない発言をされることは、社会一般に与える影響が大きく、非常に残念に思っております。一般の方々の誤解をさけるためにも、「自閉隊」発言については、取り消しをしていただきますようお願い申し上げます。

なお、自閉症についてのご理解とご支援をいただきたく、以下に簡単な自閉症についての説明を記載いたしました。また、当協会が発行しております「自閉症の手引き」を添付させていただきます。ぜひともご理解を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

☆「自閉症」とは

乳幼児期より「対人関係の障害」「コミュニケーションの発達の遅れと偏り」そして「こだわりや反復的で常同的な行動」という 3 つの特徴をもつ発達障害です。親の育て方などが原因ではなく、現在のところ原因不明の、そしておそらく単一の原因ではない中枢神経系を含む生物学的レベルの障害であると考えられています。

自閉症という名称から「自ら殻に閉じこもっている」などと思われる方がいますが、これは誤りです。

奈良支部からも

防衛庁広報課統合幕僚会議各位

本日 2 0 0 4 . 3 . 1 7 朝日新聞朝刊 2 面の石破防衛庁長官の発言「自衛隊は自閉隊だった」は我々自閉症児者本人および親等関係者に対する差別偏見に充ち満ちています。とくに自閉症に対する無知と嫌悪感は断固許せません。どのような意味でこのことばを使ったのか、自衛隊としての見解を寄せられたい。

日本自閉症協会奈良県支部
支部長 河村舟二

石破氏発言、よく分からない＝福田官房長官

福田康夫官房長官は 1 7 日午前の記者会見で、石破茂防衛庁長官が自衛隊を「自閉隊」と発言したことについて、「雰囲気や全体の文章などをよく見ないと一概には判断できない。自閉という言葉葉を自閉症ということと言ったのか、そうでなくて自閉的などという感じなのか、その辺のところはよく分からない」と述べた。

（時事通信）[3 月 17 日 13 時 4 分更新]

防衛庁ホームページにご意見いただきまして、ありがとうございます。

いただきましたご意見への防衛庁長官からのコメントをお伝えします。

=====

河村舟二 様

今回、「『自閉隊』といわれてきた」との発言について、誤解を招くような用例であったことを、自閉症の方、またそのご家族、関係者の方々に対し、深くお詫び申し上げます。

当該パーティにおいて申し述べようとした真意は、防衛庁・自衛隊としてその存在や活動が国民の皆様のご理解とご支持なくしてはあり得ないと言うことを改めて自覚し、いっそう積極的な広報により説明責任を果たさねばならない、ということにありましたが、その前段としてあのような比喩を引用したことにより、病気そのもののみならず社会の偏見とも闘っておられる数多の方々のお気持ちを傷つける結果になったことは、全く配慮を欠いた不適切なものであったと存じます。

いただいた真摯なご意見に心から感謝申し上げますとともに、今後自閉症という障害に対する正確な認識を身につけ、障害をお持ちの方々やご家族の苦しみや悲しみを理解するとともに、いわれない偏見や差別をなくすよう微力を尽くして参り

たいと存じます。

=====

今後とも防衛庁・自衛隊に対するご理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

本部からの連絡 「石破防衛庁長官にお目にかかりました」

3月22日、防衛庁にて石破防衛庁長官と協会役員とが面会し、「自閉隊」発言について直接お話をする機会を持ちました。

石破防衛庁長官から、今回のご自身の配慮を欠いた不適切な発言により、障害そのもののみならず社会の偏見とも闘っておられる数多の自閉症の方々やそのご家族のお気持ちを傷つける結果になったことについて深くお詫びいただきました。協会からは、自閉症について正しくご理解いただけるように自閉症の説明をさせて頂きました。

石破防衛庁長官は、今後自閉症という障害に対する正確な認識を身につけ、障害をお持ちの方々やご家族の苦しみや悲しみを理解するとともに、いわれない偏見や差別をなくすようお力添えを下さるとの力強いお言葉を頂いていますことをあわせてご報告いたします。

水戸事件民事裁判判決全面勝訴



☆ 水戸事件民事裁判判決全面勝訴判決を勝ち取りました！

2004年3月31日（16:00～） 水戸地方裁判所
水戸事件とは・・・

水戸事件とは、水戸市の段ボール加工業「アカス紙器」に雇用されていた「知的障害者」である労働者20数名が、社長の赤須正夫から暴行や性的虐待を受け、「障害者」雇用助成金の搾取をしていた事件です。97年3月に出された判決では、裁判長は懲役3年の有罪としながらも、「知的障害者の雇用に貢献した」として、赤須を情状酌量

し、執行猶予をつけたのです。勿論、被害者や家族や支援者は、この判決に対して怒りをもちました。

・・・・・・以下 k-pro メーリングリストより・・・・・・

水戸・アカス事件の民事訴訟判決があり、3人の原告（女性の障害者）にそれぞれ500万円ずつ支払へという判決でした。

1000万円の請求に対して500万円なので、その評価はわかりませんが、判決文の中で、知的障害者の証言について明確に認めてくれました。強姦、強制わいせつという密室での行為で目撃者

や物証がないため、障害者の証言能力が問われたのですが、判決は「原告らの供述や、強姦等の中心的部分に関しては終始一貫し……知的障害者とその家族のおかれている心理的状況、社会的状況からみて、原告らの供述は信用できる」と、あっさりと認めています。

また、被告側が消滅時効の成立を主張したことに対しては、恐ろしい加害者に口止めされ、会社を辞めてもほかに行き場がない状況の中では、訴えられるわけがない、として、弁護士や支援者や父母の援助や説明があった日を消滅時効の起算日とする——という至極まともな判断をしてくれています。7年前、支援活動は大きな挫折をして、支援者が3人逆に逮捕されてしまう経緯をたどったのですが、その後も黒岩弁護士や樫尾弁護士ら若い女性弁護士らが地道に民事訴訟を続けてくれました。警察や検察から「信用できない」と言わ

れた知的障害者の証言が、7年ぶりに「信用できる」と裁判長に認められました。

世間から事件が忘れられていく中で、知的障害者の女性の一人は、JR水戸駅の前で、「私の裁判に来て下さい」と通行人らにビラを配っていました。それを見ていた地元の小学生たちが一緒にビラ配りを手伝うようになりました。

なんだかうるうるしてしまいます。サングループ事件、茨城県の看護師による性的暴行事件、高坂茂さんの労災……障害者の側の勝訴判決が最近相次いでいます。水戸事件が明らかになった7年前には想像もできませんでした。関係者のみなさん、本当にありがとうございます。野沢

☆TBSの「報道特集」自閉症水銀がもたらした問題について

東京支部が会報の記事に関し奈良県支部に掲載了承の依頼がありました。次の文章ですが、今回の一連の流れがわかるように、うまくまとめているので、絆にもそのまま転載させてもらいました。(河村)

□ 2004年3月7日：

TBS系列テレビ局が全国で放映した「報道特集」(東京では2004年3月7日(日)午後5時半から)は、自閉症の原因が水銀であり、それに対応するキレート療法についてのものでした。水銀原因説自体はアメリカで2000年に発表されたものですが、当時否定されたものの、再々浮上してきています。その背景としては、アメリカでは水銀説を根拠にした訴訟問題が起こされており、論争が再燃してくるということがあります。

【番組のあらまし】

「自閉症の原因とその療法についての一つの説をご紹介します」として、「予防接種のワクチンの中に防腐剤として含まれる水銀を体内から排出できない子どもたちがいる。それによって脳の機

能障害を起し、自閉症を発症させる。その治療法として、重金属(水銀など)を体外に排出させるキレート剤の服用が効果がある」と説くアメリカのコナー医師・マーシャル医師に取材。またキレート療法を行っているアメリカと日本の子どもとその家族が登場し、「効果がある」と証言した。

アメリカでは、予防接種をめぐる訴訟問題となっているためでもあろうか、療法を勧めるアメリカの医師の証言は断定的で、「自閉症発症率は100人に1人、増加傾向にある」「自閉症の4分の3は水銀が原因で後天的に発症しており、その人たちに対してキレート療法は有効である」「ずっとよくなるか、治る。その効果は永遠に続く」と述べており、療法を行っている親たちも「これしかやっていない」「効果があった」と明言するなど、全体のつくりとして、非常に効果があがっていると受け取られる形になっている。

□ 2004年3月7日～：

番組放送後、支部への電話での問い合わせもあり、反響には大きいものがありました。TBSに

も、また、番組中に登場した（療法を実施している子どもさんのIQを測定した）クリニックにも、相当数の電話が寄せられたようです。内容は、「どこでこの療法を行っているか」「どこで薬剤を入手できるのか」「尿検査を行ってくれるところはどこか」など、この療法に寄せる関心の高さがうかがえるものであったとのことでした。

それほど反響を呼んだ理由のひとつには、番組の内容が非常に説得的に作られていたということ、また、小さいうちからの診断が進む中で、良い療法があればやってみたい、「自閉症を治したい」という親の気持ちの切実さからであったと思われる。

しかし、自閉症水銀説、またはキレート療法の有効性を鵜呑みにするのではなく、落ち着いた検討が行われなければなりません。それに関しては、番組の内容構成の適正さについて考えてみるべき点があるように思われます。

そのために、以下の資料をご覧くださいと思います。

【資料内容】

1. 放送後の反響を受けていち早く出された奈良県支部HPのコメント
 2. 社団法人日本自閉症協会の声明文
 3. 自閉症児者を家族にもつ医師・歯科医師グループの声明文
 4. 協会の申し入れを受けて行われたTBSの対応
- そして、
5. TBS初め各報道機関に望むもの：東京都支部のコメント

□ 2004年3月9日：

【資料1】社団法人日本自閉症協会奈良県支部のHPから

■ 3月7日（日）の夕方、TBS系列局の「報道特集」で「自閉症と水銀」という番組が放送されました。番組の内容は「キレート剤を用いた水銀排出療法」というものでした。この件について、放送後たくさんの方々から問い合わせがあります。

自閉症協会では、現在番組を製作したTBSも含めて事実確認を行っているようです。

多くのキレート剤は、服用することで悪心・嘔

吐や消化器症状を呈すと言われています。子どもの場合はなおさらと思われます。自閉症協会では早急にコメントを出すべく準備中です。自閉症協会奈良県支部では、問い合わせに対し、支部会員の丸橋先生のMLの内容で対応しています。以下の内容です。参考にしてください。

河村)

■養育部の丸橋です。（※日本自閉症協会奈良県支部の会員さんで自閉症のお子様をおもちのお医者様です。元々心臓外科医ですが、いま自閉症の勉強をしておられます。）

○私の所にも水銀キレート剤の入手方法についてすでに数件の問い合わせがあります。私は現在仕事でテレビを見ていなかったのですが、非常に問題だと感じました。結論から先に書かせて頂くと、水銀は自閉症の発症には全く関係がありません。これは医学界の常識になっています。とりあえずこれを先に流します。詳しくはすぐに続メールをします。

○水銀が自閉症の原因と言われ始めたのはアメリカが最初だと思います。アメリカで三種混合ワクチン接種をしてその時以来自閉症様症状がでたということで、ワクチンに極微量含まれていた水銀が原因と裁判が起きたのは事実です。アメリカの三種混合は、日本と違って麻疹、風疹、流行性耳下腺炎だったと思います。ちなみに日本では破傷風、ジフテリア、百日咳です。この麻疹ワクチンに防腐剤として水銀が極微量含まれていたのです。有機水銀は神経毒なのも事実です。

これは当然、アメリカ食品衛生管理局FDAの許容範囲であるのは言うまでもありません。

訴訟大国アメリカです。何らかの因果関係をこじつけでも言って裁判にしたら和解金でも得られればアメリカンドリームの世界です。そんな低い次元の話が日本に伝わってただけです。

私が推測するに、このワクチンの接種時期は1歳6ヶ月ぐらいで、喃語が消えて自閉症の症状が出てくる時期と一致するのと、場合によっては数百万人に1人と言われているワクチン接種による無菌性髄膜炎を起こして障害が出たのと考え

えます。

有機水銀は慢性毒です。急性毒性を起こす量としては非常に大量で、この場合は死に至ります。有機水銀を長期間にわたって摂取し続けた例としては、水俣病が有名です。しかし、このアメリカの話では予防接種後数日以内に発症したらしいです。こんな有機水銀毒性は考えられません。

他にも水銀が自閉症に関係ないという話はいくらかでもできます。

日本でも防腐剤として含まれていたもので、ニュースが流れてからは厚生労働省も反応して量的には無害だが入っていないに越したことはないとして、一年ほど前から麻疹ワクチンに水銀を含んではいないです。

これで果たして自閉症児が減っていくのでしょうか。

答えは NO です。

全く関係ないので、やはり人口 700 人に 1 人の割合で自閉症児が生まれてくるでしょう。

アスペルガー障害も含めると 200 人に 1 人の割合で生まれてくるでしょう。

番組でコメントしたのが誰かは知りませんが、医者が言ったとしてもそれが事実とは限りません。頭蓋形成法を行っている医者がいたり、小児科の大学教授が HP で自閉症の原因はテレビだと書いているぐらいです。

水銀のキレート剤については、ですので全く無効です。それどころか副作用で有害でもあるでしょう。今、病院にいますのでそのキレート剤の副作用について調べてみます。

一般の人が入手するのは難しいでしょうが、たとえ手に入ってもそれを子供に投与するのはある種の "虐待" と考えます。どんなことがあってもやめて下さい。

(丸橋裕之)

■続報：水銀のキレート剤は "BAL" です。"バル" と読みます。第一製薬から発売されている薬です。主成分：ジメルカプロール 100mg/1mL、添加物：安息香酸ベンジル 200mg/mL、ラッカセイ油 効能・効果：ヒ素、水銀、鉛、銅、金、ビスマス、クロム、アンチモンの中毒用法・用量：成人 1 回 2.5mg/kg を第 1 日目は 6 時間感覚

で 4 回筋肉注射し、第 2 日日以降 6 日間は毎日 1 回 2.5mg/kg を筋肉注射する。

重症緊急を要する中毒症状の場合は、1 回 2.5mg/kg を最初の 2 日間は 4 時間ごとに 1 日 6 回、3 日目には 1 日 4 回、以降 10 日間あるいは回復するまで毎日 2 回筋肉内注射する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

副作用：過敏症（頻度不明）

薬効・薬理：酵素を再賦活化できる程度は時間経過にともなって低下するので、本剤による治療は中毒の初期に処置すれば効果的である。以上です。

この薬剤を使用するのは保護者である親の自由ですが、当然保険適応はありませんし、副作用などについては苦情を言うところもないです。すべて自己責任で行って下さい。私は我が子には 10000 例以上の有効症例が確認されてから使いたいと思います。ちなみに水銀による神経障害は不可逆的です。いくら水銀が取り除かれたとしても神経症状は改善しないでしょう。

○ワクチンなどの水銀についての参考 HP です。これもすべてが正しいとは限らないという目で読んでください。

<http://www.yomiuri.co.jp/iryuu/renai/20030905sr11.htm>

○医学界では最も権威のある学会誌であるランセット誌に載っていた論文を和訳していただいている HP です。専門的な用語もありますが参考にしてください。この学会誌に載るには非常に難しく、根拠のない論文などはまず載りません。全部事実と考えてもいいと思います。

<http://www.synapse.ne.jp/~shinji/jyajya/wadai/suigin02.html>

○全文を読む必要はないと思いますが、要約だけ読んでください。

<http://www.biotoday.com/view.php?n=1681>

(丸橋裕之)

□ 2004 年 3 月 12 日：

日本自閉症協会は、TBS 番組制作担当者との話し合いの場をもちました。

□ 2004 年 3 月 14 日：

【資料2】社団法人日本自閉症協会の声明文

TBS「報道特集」で放送された「自閉症の水銀排出療法（キレーション）」について

会 長 石井哲夫

研究部長 山崎晃資

3月7日のTBS「報道特集」で、「自閉症治療にキレート剤が有効である」という放送がなされ、その直後から日本自閉症協会事務局への問い合わせが殺到しております。

科学的な根拠について

研究部会が中心となって、可能な限り種々の情報を集めて検討致しましたが、現時点で「自閉症にキレート剤が有効である」という科学的な根拠は得られておりません。

水銀排泄療法（キレーション）に科学的根拠が乏しいという理由のいくつかを述べます。

(1) 水銀化合物が自閉症の原因であるという根拠が不十分です。世界的に権威のある専門科学雑誌「ランセット」でも、水銀化合物との原因論的関連は明確ではないと記載されております。

(2) 今回の放送で、キレート剤が有効であったというお子さんの発達歴、既往歴が不明ですので断定はできませんが、「自閉症状（またはその早期徴候）が明らかになる以前に、水銀化合物が与えられた」という確証が不明確です。どのような方法によって有効性を確認したのかも不明です。

(3) キレート剤が、脳血液関門（血液中にある物質が脳の中にむやみに入り込まないようにするための、関所のようなものです）を通過して脳内に入ることが確認されているのでしょうか。

利用する場合のリスクについて

(1) キレート剤には、悪心・嘔吐などの消化器症状がしばしば認められます。

(2) キレート剤は、当然のことですが、自閉症の治療薬としては承認されておりません。もし、自閉症児に使用するとすると「適応外使用」となり、万一、重大な副作用が出現した場合には、処方した医師とご家族の責任となります。種々の保障制度もまったく適応されないことをご認識下さい。

これらのことから、日本自閉症協会としてはTBS「報道特集」の担当者と面談を行い、次回の「報道特集」のなかで「テロップ」を流すなど、適切

な対応をとるよう求めています。【→後掲】

自閉症の原因究明と治療についての取り組み

以上の事柄から、現時点では、キレート剤が自閉症治療に有効であると断定することはできません。ただし、科学的な発見は、ささいな事実から芽生えることが多いことも歴史的にはよく知られております。

環境汚染が進むなかで、子ども達の健康な成長を阻む危険性のある多くの物質が知られるようになってきており、現時点においてはキレート剤が有効であるとの証明はされておきませんが、完全に否定することもできません。

おそらく、自閉症は、特定の物質だけによって発症するものではなく、遺伝子の配列異常を含めた複合的な要因によるものであると考えております。

自閉症の子どもが、少しでもよくなる方法があれば試してみたいとお気持ちもよくわかりますが、科学的な根拠が得られて、安心して使用できる方法がみつかるまで、慎重な対応が必要と思います。

研究部会に関係する専門家集団といたしましても、一日も早く自閉症の原因と治療法が見いだされるように努力しております。

以上

□ 2004年3月14日：

【資料3】自閉症児者を家族に持つ医師・歯科医師の会の声明文

TBSテレビ報道特集「自閉症の原因は水銀？」について

afd 水銀と自閉症に関する調査委員会（大屋滋 矢崎史郎 岡田稔久 木村隆 山川孔 工藤泉 竹元伸之 久保田潔 石川清隆 古賀義孝 田中 恭子 高木佐知子 井上かな 小澤武司 市川 宏伸）

私たちは、自閉症児者を家族に持つ医師・歯科医師の会（autism-family-doctor：afd）のメンバーです。

3月7日にTBS系列で報道特集「自閉症の原因は水銀？」が放送されました。この番組では学術的に不確実な情報が、誤解を招きやすい形で報道されておりました。そのため放送終了後から自閉

症児者を抱えるご家族の間で大変な混乱が起きています。私ども afd ではこの事態を重くみて、緊急に『afd 水銀と自閉症に関する調査委員会』を立ち上げました。医師・歯科医師であり、同時に自閉症児者を抱える家族でもある両面の立場から見解をまとめましたのでここに提言させて戴きます。

今回の放送は『自閉症の原因は水銀であり、それはキレート治療によって治癒する』、という印象を強く与えるもので、番組編集、さらにキレート治療や自閉症の水銀原因説において次のような問題があると思われます。

1. 今回の番組編集について

24分間あった放送時間のうち、自閉症の説明などについて約5分間、残りのほとんどの時間はキレート治療の紹介及び有効性に関する内容であり、副作用についての説明はわずか約30秒ほどでした。さらに『水銀が自閉症の原因である』というような言葉をCMの直前直後に繰り返し使ったり、『キレート治療によって改善した』というような言葉も数回にわたり使い、キレート剤投与を自閉症の治療として強く印象づける内容でした。

一般的に、幼児期～学童期前半は適切な療育がなされれば特に伸びる時期です。番組では、発達クリニックでの検査場面やインタビューを部分的に組み込み、専門家の視点からみてもキレート治療の効果のみで伸びたと思わせる編集がなされているように感じられました。

2. キレート「治療」について

放送されたキレート「治療」の効果については、これを実践している家族と推奨しているごく一部の学者による主観的評価であり、自閉症の治療もしくは症状改善の評価基準はきわめて曖昧でした。

仮に症状が改善したとしても、キレート剤投与による症状改善なのか、それとも個々の成長による症状改善なのか、似通った症状を持った自閉症児においてキレート剤を投与した群としなかった群での比較検討はなされたのかなど学術的・医学的な疑問が残ります。

キレート剤投与は副作用が大きく、副作用を上

回るほどの自閉症の症状改善効果が証明できない限り、治療ではなくまだ研究レベルであり、私たちはこれを推奨できません。

3. 自閉症の水銀原因説について

水銀が自閉症の原因であると断定する科学的根拠はありません。水銀と自閉症の関係を示唆する一部のデータがあるのは事実ですが、水銀と自閉症の関係を否定するデータが圧倒的です。たとえば水銀が自閉症発症の原因というのならば、水俣病などの水銀汚染地域において本人または次世代に自閉症児・者の数が突出するという疫学的データがあるはずですが、私どもが調べてみた限りそのようなデータはありませんでした。さらにイギリスやアメリカで行われた大規模な疫学調査の結果でも、チメロサル含有のワクチンを接種と、自閉症の発生率の間に関連はみられず、今のところチメロサル含有のワクチンが自閉症の原因であるとする仮説を支持する証拠はないのが現状です。これらの事実は、水銀と自閉症の関係を示唆する一部の研究結果は (a) 偶然か、(b) 調査方法に欠陥があったためか、(c) 水銀との関係は「みかけ」上のもので真の原因は別にある、などによる可能性が高いことを示すものです。

私たちの知る限り、これまでも自閉症治療に関する様々な情報、特効薬の話題がありましたが、いずれも数年で下火になっています。将来、誰もが認める結論に行きつくかもしれませんが、なかなか難しいようです。いろいろな情報を横目に見ながら、焦らず、地道に療育に励むのが「急がば回れ」かもしれません。

テレビ、新聞などメディア関係者の皆様には、自閉症児者を抱える親や家族の立場や心情を十分に理解していただくと共に、より正確で客観性のある情報を、誤解の生じないような形で報道していただきますようお願いいたします。今回の報道特集でも、自閉症は親の育て方により生じるのではなく、何らかの原因による脳障害に起因する発達障害であることをしっかり説明をしている点では、評価出来ます。私たちは、自閉症児者の幸福に繋がるより良い報道がなされるために、可能な限り協力させていただく用意があります。

最近の参考文献

「関連無し」の文献です。

Madsen KM, Lauritsen MB, Pedersen CB, Thorsen P, Plesner AM, Andersen PH, Mortensen PB.

Thimerosal and the occurrence of autism: negative ecological evidence from Danish population-based data.

Pediatrics. 2003 Sep;112(3 Pt 1):604-6.

Verstraeten T, Davis RL, DeStefano F, Lieu TA, Rhodes PH, Black SB,

Shinefield H, Chen RT; Vaccine Safety Datalink Team.

Safety of thimerosal-containing vaccines: a two-phased study of computerized health maintenance organization databases.

Pediatrics. 2003 Nov;112(5):1039-48.

Erratum in: Pediatrics. 2004 Jan;113(1):184.

Stehr-Green P, Tull P, Stellfeld M, Mortenson PB, Simpson D. Related Articles, Links

Autism and thimerosal-containing vaccines: lack of consistent evidence for an association.

Am J Prev Med. 2003 Aug;25(2):101-6.

「関連あり」の文献です。

Geier DA, Geier MR. Related Articles, Links

A comparative evaluation of the effects of MMR immunization and mercury doses from thimerosal-containing childhood vaccines on the population prevalence of autism.

Med Sci Monit. 2004 Mar;10(3):PI33-9. Epub 2004 Mar 01.

以上、

*千葉県支部のHP：<http://www.interq.or.jp/japan/aschiba/index2.htm>

□ 2004 年 3 月 14 日：

【資料 4】協会の申し入れを受けて T B S の行った対応（協会からの各支部への通知による）

上記（資料 2 参照）を受けて、3 月 14 日の同番組内において、最後に次のようなコメントをキャスターが読み上げました。

「先週の放送で、体内水銀を排出するという自閉症の治療についてお伝えしましたが、放送後、非常に大きな反響がありました。／キレート剤の有効性と安全性に関しては、番組でもお伝えしたとおり、日本ではまだ科学的なデータが得られていません。副作用もありますので自閉症の治療については、専門医にくれぐれも慎重にご相談いただければと思います。／キレート剤の治療については、専門医に慎重にご相談いただきたいと思います。」

□ 2004 年 3 月〇日：

【資料 5】 T B S 初め各報道機関にお願いしたいこと・・・・・・東京都支部からのコメント

今回の番組の冒頭に「自閉症とは自ら閉じると書き、ひきこもりなどと受け止められているが、そういうものではない」とあり、これは、常日頃、私どもが一般市民の方々に訴えたいことでしたので、たいへんありがたいと思いました。さらに、30 分ほどの時間を費やして、自閉症が中枢神経の機能障害であること、それに対しては対処療法がありうることを報道していただきました。

ただ、残念であったのは、キレート療法の効果を説き急いだと思えるような内容構成になっていたことです。

司会者は冒頭の言葉に続けて、「自閉症についてはその原因がまだつきとめられないでいること、だからあくまでも今試みられている療法のひとつとして紹介する」という慎重な言い方でしたが、実際の番組の中では、結果として水銀原因説、キレート療法の効果、というものをうたいあげる内容になっていたと思います。

最後に司会者は、（番組内の）親御さんたちは確立されていないこの療法を試すのにはリスクがあるが、実践している、として、「一定の効果をあげているのは事実のようです」と結んでいました。

番組が自閉症児者の親たちに与えた動揺は、はっきり言って、少なくありませんでした。それはそのまま、この障害の子どもたちをかかえた親たちの苦悩の証明であるといってもいいと思われます。治るといわれれば薬をもつかみたい……偽

らざる本音でしょう。だから、その気持ちに対して、この報道の内容が誠実であったかを問いたいと思います。

○水銀原因説は大方の批判を受けています。それについての言及が欠けています。

○しかも「自閉症が治る」という証言をそのまま放送しています。

（「治る」といわれれば親はどんな苦しいことを子どもに課すとしても、実行するでしょう）

○キレート剤服用の危険性についての言及が欠けています。

○キレート剤服用で状態が改善された子どもたちの内容の検証が不足です。

○キレート剤服用だけで状態が改善された、ということへの検証が不足です。

などが、すぐにも挙げられる問題点です。

今回のことに寄せて、あるお母さんは次のように発言しました。親の気持ちをたいへんよく表していると思いますので、お読みください。

「・・・ネットで実際のキレーション体験 HP なんかを読んでいると「わー大変、うちにはできない！」となるか、「だめでもともと、どんなに大変でも、どんなに子供に負担がかって、やってみよう！」と思ってしまう親もいるに違いないと思ってしまいました。

うちのように大きくなってしまって、たとえ有効な方法だとしても今からでは効かないだろうと引いて受け止めようとしても、気持ちが騒ぎます。治るのだろうか・・・もしそうなら・・・

子どもが幼児期で、診断を受けたばかりのときであつたら、どんなに悩んだことだろうと思います。自閉症なのは不幸なことでしょうか、自閉症は治さないとならないのでしょうか、

キレート剤の服用が子どもの負担になるというなら、それを承知でやらないといけないでしょうか。

自閉症の原因が解明され、それによって治療方法が見つければ、本当にうれしいです。

それまでは、本人の暮らしがしやすく、楽しいものであるよう、努力していきたいと思います。

自閉症だって、今の息子は本当にかわいいと思います。」

どうぞ、自閉症の原因が解明されるような手立てにお力を貸してほしいと思います。さまざまな情報もお知らせください。親が自分で責任をもって判断できるような情報提供であってほしいと思います。

一方でまた、自閉症にかかわらず、あるいは自閉症という障害を抱えながらじょうずに生きている人、あるいはそう生きていきたいと試みている人、それを支えようとしている人たちの姿もお伝えいただけたらと思います。

（奈良県支部療育部上島さんの文章）

4月24日の総会の保育について

当日の保育 限定 15 名受け付けます。
兄弟姉妹も可。
15 名受付終了と同時に締め切ります。
お早めに申し込み下さい。
申し込み先 : 田中 康子
TEL、FAX【0745】32 - 1035

中川智恵先生みらい賞
「みらい賞受賞おめでとうございます！」
会員の皆さん、今回の協会紙「いとしこ」
ご覧になりましたか。我々奈良県支部賛
助会員の中川智恵子先生（天理市立山の
辺小学校）が第5回日本自閉症協会顕彰
事業自閉症支援実践賞の「みらい賞」に
選ばれました。奈良県で初の受賞です。
全国的に奈良の実践のすばらしさが認め
られたことはもちろんですが、奈良県か
ら応募して頂ける先生が出来たことを皆
さんとともにまず喜びたいと思います。

会員紹介(療育部編)

西川 敦(あつし) 4才

母、姉(小1)、祖父母の5人家族です。

生後10ヶ月で歩いていたけれど、お姉ちゃんの時と何かちがうなあと感じていました。

「いないないばあ」や手あそびうたをやっても、あまり反応しない子でした。

ヨチヨチ歩きで駐車してある車のタイヤやホイールをよくなでまわしていました。

2才になっても言葉がなく、同じ年の子をうらやましく見ていました。

2才半のはがき健診で相談し、すぐりハビリセンターを紹介され自閉症と診断されました。

半年、地域の教室「杉の子学級」を週2回通い、昨年4月より、仔鹿園に通園しています。

新しい場所が苦手で、じっと椅子に座っていられなかったのが今では昔のことです。単語も増え、要求も少し言葉で表現することができてきているようです。ですが、ここ最近是不満を扉やガラス戸を叩くことで私の反応を見て、興奮を叩くこと

で現してしまいます。最も少し前、扉のガラスをブチ割ってしまい、ケガをして手かげんをしているようですが。

普段は走っては“ビューン”、自転車では“ビューン”とあっという間に見えなくなってしまうので追いかけるのが大変ですが、最近は「まって～」と言うと待ってくれることもあるのです。

動物や働く車が大好きで、その辺の絵本はもうボロボロ状態です。外あそびが大好きなので、その代わりに時間と体が許す限り、付き合い、私も精一杯楽しむことが今、大切なことかなあと考えています。どんな時もありますが、きっと神様は行くべき道をちゃんと照らしてくださることを信じて……

こんな親子ですが、皆様どうぞよろしくお願い致します。

事務局から

◎4月24日の総会の時会費を集めます。

出来るだけこの機会に会費をお納めください。

振り込みの手数料がいりません。

会費は正会員年額6000円(協会費4000円+奈良県支部活動費2000円)、奈良県支部賛助会員年額3000円

新入会者は入会金3000円加算(初回のみ)

★光とともに～自閉症児を抱えて～

4月14日(水)夜10時スタート(日テレ系列)

原案:戸部けいこ著 秋田書店

キャスト東 幸子=篠原 涼子

里緒 秀美=小林 聡美

東 雅人=山口 達也

桜 俊也=武田 真治

相良 薫=鈴木 杏樹

薮下 めぐ美=井川 遥

東 光=齋藤 隆成

東 貴子=高橋 恵子

矢吹 一=渡辺 いっけい

★自閉症協会奈良県支部の会員で療育部の二宮さん親子が、NHK教育テレビに登場されます。

4月22日(木)午後 8:00～8:30NHK教育テレビ福祉ネットワーク「うちの子供は世界一」

1月の初旬、健(たけし)君の描いた絵を応募したのがきっかけで取材依頼がありました。健君は絵を描くのが好きでいろんな絵を描いています。学校、家庭、奈良県りハビリテーションセンターの三カ所を撮影したようです。

★高機能自閉症・アスペルガー症候群特性理解のためのアプローチ

2004年4月17日(土) 11:00～16:00(予定)

住まい情報センター 3階ホール
地下鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3番出口より
連絡

session1「高機能自閉症・アスペルガー症候群と
は何か」

session2「『中学生の勉強会』資料から」

session3「世の中に貢献したアスペルガー症候群
の検討」

session4「公開質問」

※都合によりプログラムは変更することがあります。

内山 登紀夫 大妻女子大学助教授

吉田 友子 よこはま発達クリニック医師

最近、教育や医療の現場などで話題になるようになった高機能自閉症やアスペルガー症候群。名称の知名度が高くなると同時に様々な誤解も生じています。適切な支援の前提となるのは正しい理解です。今回は、よこはま発達クリニックで実施した「中学生の勉強会」の模擬体験や、アスペルガー症候群が疑われる近代史上の人物の病跡学的検討を通じて、特性理解への多角的アプローチを試みます。参加者のみなさんの疑問にできるだけお答えするために「公開質問」のコーナーも設けます。

○参加費 3000円

○定員 300人（先着順）

○お申し込み 氏名、住所、電話番号、職業を明記の上、FAXかはがきで下記へ

〒530-8211（住所不要）朝日新聞厚生文化事業団「高機能自閉症」係

FAX 06-6231-3004 電話 06-6201-8007

主 催 朝日新聞厚生文化事業団

後 援 日本自閉症協会

☆NHK 障害福祉フォーラム

日時：

平成16年5月15日（土）10:00～16:30

会場：

呉竹文化センター ホール

プログラム（予定）

10:00～12:30

講演 「高機能自閉症スペクトラムの概念と障害

特性の概観」

講師 内山登紀夫氏（大妻女子大学助教授、よこはま発達クリニック院長）

12:30～13:30 休憩

13:30～14:30

講演「ある小学校における高機能自閉症へのとりくみ」

講師 山内みどり（高槻市立高槻小学校教諭）

14:30～14:45 休憩

14:45～15:45 講演「自閉症スペクトルと共に生きる」

佐々木加奈（アスペルガースペクトラムのご本人）

15:45～16:00 休憩

16:00～16:30 質疑

16:30 閉会

参加費：無料

参加申し込み要：氏名・勤務先・職名職種・〒住所・電話、fax、e-mailを

ファックスで知らせる。※用紙は各支部にあり
FAX 送り先：075-813-5157

定員に達すると締めきる。参加者いただける方のみに参加証を送ります。

★今年のつながり祭は5月16日（日曜日）

場所：奈良教育大学付属小構内

★第108回国際治療教育研究所セミナー

知られざる自閉症の障害（A Matter of Attention）

講師：ウエンディ・ローソン コーディネーター：
佐々木正美・杉山登志郎

2004年5月29日（土）

東京：科学技術館サイエンスホール

2004年5月30日（日）

大阪：オーバルホール

聴講料：1名1日13,000円

問い合わせ先：国際治療教育研究所〒107-0052

東京都港区赤坂2-21-15 赤坂osビル1階

Tel03-3586-3240fax03-3505-2959

案 内

☆アスペルガーの本

3月に出版された本で、アスペルガーの本人が書かれた「他の誰かになりたかった」藤家寛子著 花風社 1680円(税込)は、とても読みやすく、自閉の人の内面や、感じ方、考え方が良く分かります。結構読みやすい文体で書かれています。著者は現役の女子大生です。是非とも1度読んで欲しい1冊です。

『自分の障害に名前がついた日から間もない頃、長崎でアスペルガー症候群の少年の事件が起きた。その日を境に、私はただの障害者でいられなくなった。殺人という事実と、「アスペルガー症候群」という名前。私たちは「無情」の文字でひ

とくくりにされ、時だけが虚しく過ぎ去っていったわ。』という、はじめの書き出しで始まります。知的には私などよりも高いものを持っておられるようですが、自閉の為に世の中で生きて行くのにとても苦勞をされています。

私たちは、この本の中から、疑問に思っていた、又は理解が難しかった、自閉の人たち独特の見方、考え方、感じ方を知る事と、理解する事ができます。そしてどのように付き合っていったら良いのかのヒントも学ぶことができます。是非1度、この本を親だけでなく、保育、教育、療育に関わる方々が、お読みいただけたらと思います。

西田 清

☆TEACCHプログラム研究会 京滋支部 2004年度 プログラム

今年度は、昨年度に引き続き、テーマ「連携」を中心に話題提供をしていただきながら、会員間で討議し、自閉症やTEACCHプログラムへの理解を深めていきたいと思ひます。また、新入会員の方や「TEACCHプログラムを基礎から正しく理解したい」方には、滋賀自閉症研究会たんぼや自閉症協会京都府支部の主催する基礎講座への参加もお勧めします。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

○4月17日(土) 13:30～16:00

場所：ハートピア京都

講演会「自閉症－精神科医療の視点から－」

講師：門眞一郎 氏 京都市児童福祉センター

2004年度総会 16:00～16:30

○5、6、7月

滋賀自閉症研究会たんぼの基礎講座

○6、7月 自閉症協会京都府支部の基礎講座

○8月 (本部) ミニトレーニングセミナー

(IN愛知)

○9月4日(土) 13:30～16:00

場所：ハートピア京都

例会「学校校内の連携」 話題提供：京都の養護学校から

○10月2日(土) 13:30～16:00

場所：ハートピア京都

例会「激しい排泄におけるこだわりと取り組んで」

話題提供：横手通43番地「庵」横田早苗氏・角藤展久氏

○11月6日(土) 13:30～16:00

場所：野洲中央公民館

例会「豊かな成人期をおくるために」

話題提供：近江学園 田中氏

○12月4日(土) 13:30～16:00

場所：野洲中央公民館

例会「学校から卒業後の生活への移行計画について」

話題提供：三雲養護学校

会 場 ○ハートピア京都

京都市営地下鉄烏丸線「丸太町駅」下車 5番出口上がる

京都市バス「烏丸丸太町」バス停下車 南側烏丸通り沿いへ

【編集後記】 今月号は、色々な記事で読みごたえがあります。4月、雑木林の木々も春の装いになってきました。ウグイスも雀もにぎやかにさえずっています。さあ、ガンバリましょう！

支部ニュースについての感想、ご意見等がありましたら、穴戸(0742-49-3855)までか、または、最寄りの支部役員までお願いします。